

| | |
|---------|-----------|
| 問い合わせ窓口 | |
| 道路政策課 | 中家、市川 |
| 内線 | 3118,3096 |

今後の道路行政についての意見・提案について
～新たな中期計画への和歌山県の意見・提案～

この度、新たな中期計画の策定にあたって、「今後の道路行政についての意見・提案」について、今後の道路整備のあり方や、新たな道路事業評価に対する意見、並びに紀伊半島一周高速道路を初めとする本県の道路施策の重点事項等を取りまとめ、国土交通省に提出しました。

1. 主な意見・提案等

(1) 道路は地方にとって将来のチャンスの保障

本県にとって、高速道路を初めとする道路ネットワークの確立は「人が暮らすための平等な権利の保障」、「経済活動の基本的なチャンスの保障」、「大規模地震など自然災害への備え」から不可欠。

(2) 今後の道路整備のあり方

地方の住民は、都市部に比べ多くの揮発油税を負担してきており、これ以上地方の道路整備が滞ることは容認できない。

高規格幹線道路などの幹線道路網については、国が責任を持って整備すべきであり、そのための財源は確保されなければならない。

(3) 道路事業の評価に対する意見（別紙参照）

日本の便益算出方法は、世界に類を見ない過小評価であり、災害対策、医療などの安全・安心や、観光など地域振興等の要素を評価として加味すべき。

地域のポテンシャル特性等を踏まえた便益の評価が必要。

2. 道路施策の重点事項

高速道路ネットワークの整備

・紀伊半島を一周する近畿自動車道紀勢線の早期整備、4車線化

・京奈和自動車道の早期整備

「選択と集中」による県管理道路の整備

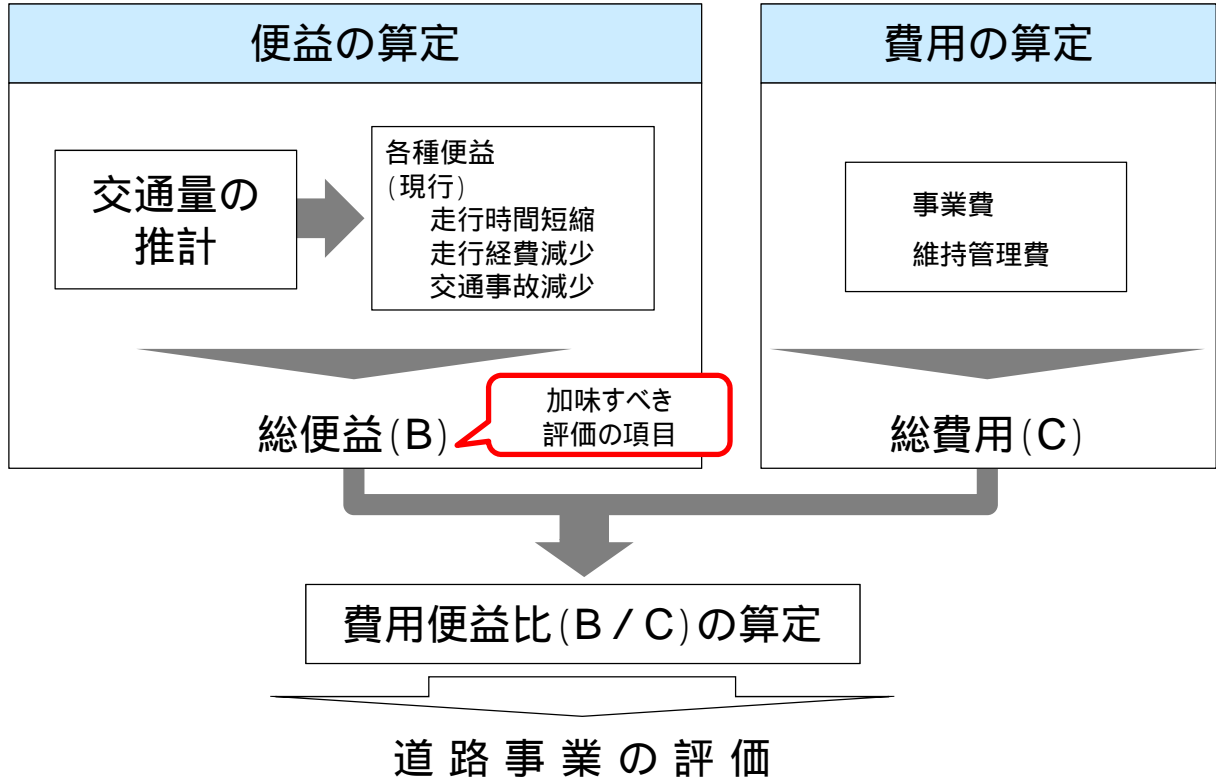
・府県間道路、内陸部骨格道路（X軸ネットワーク）等

「選択と集中」による効果的な橋梁・法面・交通安全対策

適切な道路の維持管理

道路事業の評価について

道路事業は費用便益分析(B/C)により評価されている。



諸外国の評価手法との比較

日本の便益は**直接効果の3便益だけで評価**

走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少

諸外国では、これら**3便益に、間接効果も含め多様な便益を加えて評価**している。

| | 日本 | ドイツ | ニューゼーランド | イギリス | フランス | ベルギー | |
|-----------------|--------------------------------|----------|----------|-------------------------|---------------|-------|---------------------------------------|
| 便益 (金銭換算化項目) | 直接効果 | 走行時間の短縮 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | 16項目で評価 (時間短縮・産業地域アクセス・建設コスト等) |
| | | 走行費用の減少 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | |
| | | 交通事故の減少 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | |
| | 舗装による運転者の走行快適性の向上 | | | ◎ | | | |
| | 追い越し機会の増加によるイライラ減少 | | | ◎ | | | |
| | 所要時間の信頼性向上 | | | ◎ | ○ | | |
| | 騒音減少 | | ◎ | | ○ | ◎ | |
| | CO2減少 | | ◎ | ◎ | ○ | ◎ | |
| | 大気汚染減少 | | ◎ | | | ◎ | |
| | 歩行者等の交通遮断の解消 健康(サイクリングの機会等) | | ◎ | | | | |
| 間接効果 | 利用可能な交通手段の増加 | | | ○ | | | |
| | 雇用創出 | | ◎ | | ○ | | |
| | 農業・畜産の生産性向上 | | | ◎ | | | |
| | 料金収入 | | | | | ◎ | |
| 選択基準 | B/C>1を前提 | B/C>1を前提 | B/C>1を前提 | B/C≧1を基本 B/C<1でも採択可能 | B/Cを含めて総合的に判断 | B/Cなし | |

事業評価項目に関する意見

地方部では、道路整備に対し「人が暮らすための平等な権利の保障」、「経済活動の基本的なチャンスの保障」、「安全・安心」といった効果が期待されている。

そこで

これらの地方が求める効果も道路整備の評価項目として加味すべきである。

加味すべき事業評価の項目例

災害対策に対する便益の評価

- (1)通常災害 ・災害時の通行止めに伴う迂回が解消されることの効果
- (2)大規模災害 ・東南海・南海地震発生時に経済損失が軽減される効果

救急医療に対する便益の評価

- ・重篤患者搬送時間の短縮により救命率が向上することの効果

観光に対する便益の評価

- ・アクセス時間短縮による観光客やその滞在時間が増加することの効果

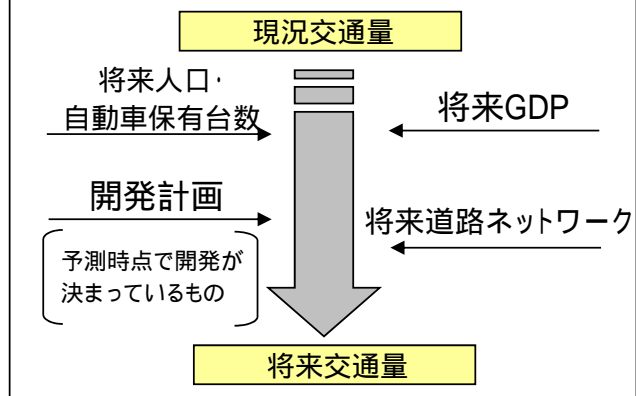
環境の改善

- ・大気汚染、騒音、地球温暖化が軽減されることの効果

地域のポテンシャル特性などを踏まえた便益の評価

- ・道路が整備されたことによる誘発交通の大きさの評価

将来交通量推計手法

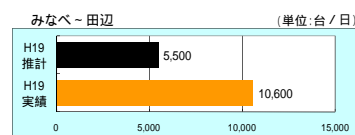
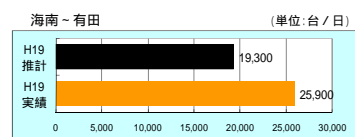


地域のポテンシャルが高い場合は大きな誘発交通が発生する

予測を上回る交通量

地方では

道路が整備されることにより、チャンスが生まれ、拡大し、それを活かしています。



地域のポテンシャル特性などを踏まえた便益の評価が必要